

令和3年2月17日

輪之内町教育委員会

教育長 箕浦 靖男 様

外部評価員 田中 耕

令和元年度評価「輪之内町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況」に対する外部評価について（報告）

令和2年7月「令和元年度評価 輪之内町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況報告」（以下「第一次評価」という）の内容に基づくほか、すでに公開されているインターネット情報、輪之内町教育要覧学校要覧などを含めて、同教育委員会に属する事務及び執行状況について外部評価を行いましたので、下記のとおり所見をまとめてご報告します。

記

1. はじめに

第一次評価報告書の第1章では、評価方法並びに評価の概要及び詳細がまとめられています。また、第2章では、点検評価シートを用いて過去3年間に亘って各事業の詳細評価が示されています。特に貴教育委員会の活動状況については「合議の実施状況」、「調査活動の状況等」の2項目に分けて、「活動実績」及び「成果と課題」の自己評価が示されています。また、学校教育については13領域、社会教育については7領域の計20領域に区分して、「重点目標」及び「成果と課題」の自己評価が示されています。

したがって、外部評価についても、第一次評価報告書の記載順に、また点検評価シートに示された領域に沿いながら評価と所見を述べることとします。

2. 点検評価結果と評定について

第一次評価の概要として、教育委員会の活動状況については「教育委員会会議の状況」、「調査活動状況」とともに評価結果は「順調に達成している（A）」と報告されています。また、事務事業の執行状況については「A 順調に達成しているもの」10/20事業(50%)、「B おおむね順調に達成しているもの」10/20事業(50%)、「C 達成見込みであるが課題があるもの」0/20事業(0%)、「D 順調でないもの」0/20事業(0%)として報告されています。

全体的に「C」、「D」の評定が見られず、「A」あるいは「B」の評定であり教育委員会の活動や事務事業が順調に執行されている様子がうかがえます。今後も輪之内町教育行政の要として、組織機能の維持されることを期待します。

しかしながら、点検評価シートに記載の教育委員会の活動状況では、点検項目の年度評価では、「順調に達成している」として、評定「A」とされているものの、「成果と課題」欄には、[成果]に併せて[課題]が記載されています。本来、第1章に示されている<評定につい

て>に従えば、課題がある場合には評定「C」となるべきと思われます。むしろ、「成果と課題」の欄に、次年度以降に解決すべき課題としての記載であれば、「今後の対応方針」、あるいは「今後の検討すべき課題」と記載すべきではないかと考えます。点検評価シートの記載方法についてご検討いただきますようお願いします。

3. 点検評価結果の詳細について

「学校教育」の執行状況については、評定と数値で評価され、これらの評価は教育の第一線で頑張っておられる教職員の先生方の意見を反映した貴重な評価結果であることに好感が持てます。とりわけ、現状にとどまらず次年度への課題についても併記されている点に好感が持てます。PDCAサイクルのC(評価)にとどまらず、次のステップである改善(Action)を視野に入れて、次年度以降の参考にすべき内容あるいは解決すべき課題を明確化しながら内部評価されていることを高く評価します。

また、「社会教育」の執行状況については、参加者の感想やアンケートなどから総合的に評価されていることから、実情を的確に反映させた評価になっていると考えます。

4. 各事務事業ごとの点検評価シートについて

(1) 教育委員会の活動状況について

両点検項目とも、過去3年間に亘り「A」評定であり、安定した良好な活動が円滑に実施されている様子がうかがえます。

教育委員会の定例及び臨時会議を開催によって、議案審議や教育情勢報告のみならず、教育委員会の役割など、あるいは教育大綱、教育振興基本計画、いじめ防止等のための基本方針など、様々な指針、運用要領の見直し等に取り組んでおられる様子がうかがえます。輪之内町の教育行政の役割を担っておられる重要な組織として機能していることに大いに評価します。今後とも可能な限りの時間をかけ、十分な議論を交わすことによって、さまざまな困難な課題解決の糸口や方向を探り、輪之内町の教育水準の向上につなげていただくことを期待します。

調査活動の状況についても全国あるいは県組織への参加などによって時宜を得た新たな情報を収集しておられることは重要なことであり評価に値します。また、地域学校協同本部の立ち上げなど新たな事業にも積極的に取り組んでおられる点についても高く評価できます。今後も研修の機会等を利用して教育水準の向上、教育改善などを図られることを期待します。

また、アクティブラーニングの導入、モデル授業や一般公開授業の開催などの今後も継続的な調査活動の実施に期待します。

(2) 「学校教育」について

年度ごとの評定に大きな変化は見られないものの、ほとんどすべての領域において前年度の評価数値が低下傾向にあります。成果には単純な数値データで示すことが出来ない質

的な内容が多いため、わずかな数値の推移に一喜一憂するものではありませんが、前年度から大きく評価値が低下した領域についてはその要因を明らかにし、対策を立てることが望まれます。また、今後は単純な平均値の年度比較のみでなく、その数値の変動が有意な差異であるどうかの統計的処理を通じた経年比較についても、今後検討する必要があると考えます。

評定のなかに「C」、「D」が見られないものの、評価の内容として「B」よりも「A」評定が多くなるように一層の改善が望れます。とりわけ、学校教育の要である領域「教科指導」については重点的に改善を図り「A」評定になることを期待します。

一般的に、各教員の意識のなかに十分な自己達成感をもって業務に取り組んでいる場合には、その教員の能力が充分に発揮され業務満足度は高く、その内容も充実して成果も大きい傾向にあります。まずは各教員の達成感の向上、意欲の換気につながるような学校教育の工夫、教育環境の改善などに努められることを希望します。また、教育の質保証・向上に資する観点から教職員による評価に加えて、生徒あるいは保護者などによる学校生活への満足度なども検討されてはいかがでしょうか。

(3) 「社会教育」について

7領域すべてにおいて、3年間連続的に「A」評定であることは、輪之内町の社会教育が順調に推移していることの表れであり、大いに評価できます。しかし、現状に甘んじることなく各領域での新たな課題の発掘や事業の重点化、あるいは生涯学習に対する住民意識の向上を図るなどのたゆまぬ努力によって、よりいっそう魅力あふれる町づくりにつながるものと考えます。今後とも、社会教育の一層の向上を期待します

5. おわりに

全体として大変好印象を受けました。とくに本外部評価を通じて、輪之内町教育大綱、輪之内町教育振興基本計画に教育の理念・目標が掲げられ、これらを背景として各種施策が進められていること、輪之内町の教育に多くの方々が細部に亘り熟考を重ねながら進められている様子をうかがい知ることができました。また、評価の過程で自治体教育行政の抱えるさまざまな困難や課題についても知ることができました。

今回の自己評価及び外部評価が評価のみで終止するのではなく、次へのアクションにつながり輪之内町の教育水準の向上に結びつき、貴委員会の活動や学校教育、社会教育が一層発展されることを期待します。自己評価によってマンネリ化しやすい定例業務の見直し機会になり、事務改善の契機とされれば有難いです。

今後、輪之内で生まれ育った子どもたちが広い視野をもって、この地域のみでなく、グローバルな世界の中に将来の社会に貢献できる人材が育ってほしい。そのような人材はせせこましい都会ではなく、輪之内のような自然豊かな田舎でこそ育まれるものかもしれない。昨今のように、不透明な世の中にはいろいろな難題が突然に発生することが想定されます。そんな課題を解決し、社会に生き抜く人材を育てる。そういう人づくりのできる教育、将来

の活躍の夢を育てる教育を輪之内に期待しています。

いずれにせよ、今後も教育の質保証・向上に資する観点から、今後も内部評価を進められ特色ある町づくり、教育活動の充実に努められることを期待します。

最後に、貴委員会が所掌されている事務内容について詳細な知識・経験のない当評価員が的外れのコメントになっていないか、あるいは過大要求な内容の所見になっていないか危惧しながらご依頼への回答といたします。

以上

O

O